



# Team Dainan

八千代市立大和田南小学校  
《校長室だより》  
令和3年度 第37号  
令和4年 1月21日

## 「やっちゃんのなやみ ～お店、あけてもいいかな?～ ～6年生 道徳 「働くということ」～



みなさんは、「まぼろし堂」というお店をご存知ですか?「まぼろし堂」は、やっちゃんと呼ばれている村山保子(むらやまやすこ)さんが営んでいる八千代市桑橋にある駄菓子屋さんです。

ちょっと町のはずれにあるため、わかりづらいのですが、地域の人々にとっては、憩いの場所になっているお店です。

村山さんは、新型コロナウイルスのまん延によるマスク不足を懸念し、マスクを配付したところ、店先に「コドモアツメルナ オミセシメロ マスクノムダ」という張り紙をされたそうです。恐ろしくて足がすくみ、胸がしめつけられたそうです。そのため、一時は閉店も考え、休業したそうですが、全国から数多くの励ましを受け、「子供たちの笑顔が見たい、憩いの場でありたい、お店は私の生きがい」という思いからお店を再開しました。

今回、6年生は、“やっちゃん”の悩みに焦点を当て、道徳の授業を行いました。お店に来てくれる子供たちの健康、高齢という自分の体のこと、張り紙のことなどお店の再開に取り巻く状況を踏まえて、お店を開けるべきか、それとも閉めたままにするかどうかについて、6年生の子供たちは、自分の立場を決め、議論し合いました。以下は、子供たちの意見や授業後の感想です。

### 【再開するべきでない】

・「再開すべき」の意見を聞いて、やっぱりまぼろし堂は(やっちゃんにとって)生きがいだけど、やっぱりコロナが流行っているからやめた方がいいかと…思っています。

コロナが5年とか流行っていたら、1週間に1度くらいにする!!(春奈さん)

・「再開するべき」の啓大君のドライブスルー案を聞いて、あの広い所で売れば3密にならないからいいと思った。私は、本格的に再開するべきでないと思う。(優衣さん)



### 【再開するべき】

- マックみたいに注文票的なものを作り、取りに来てもらって、渡して、等間隔でおいだテーブルなどで食べてもらったり、外で主な販売をしたりするとコロナ対策的にもいいと思う。(啓大さん)
- 最初から前のようにやるのではなく、いくつかのステップを踏んで営業していけばいいと思うし、あの紙に揺さぶられるのではなく、やっちゃんの意味でしっかり決めてやればいいと思う。それで、また紙があったとしても気にせず、自分の決めたことに自信をもって営業してもいいと思う。(友梨菜さん)



### 【授業後の感想】

- 自分がこっち側(再開するべきでない)の意見で決めたとき、こっち側の意見ばかり考えるけど、反対の意見を聞いたりすると「あ～確かに！」とか思えて、やっぱりどっちも選べないってなった。これ、難しい！(莉羅さん)
- やっぱり難しいけど、これは私たちが「みんなと集まっていろいろしたい！」っていう気持ちと同じだと思う。考えながらゆっくり進めるといいと思う。(李音さん)
- 自分で店をやっている人たちは、コロナでとても大変だと改めて思った。他の悩んでいる人の気持ちも知りたいと思った。(有哉さん)
- 今日の学習は、話し合った後、(意見を)変える人がたくさんいて、けっこうの人が立場が変わったと思いました。(葵さん)
- 友達の意見で納得できたことは、「コロナがどれだけ続くかわからない中、勇気を振り絞ることは大切」です。なぜならやっちゃんは高齢ということもあって、生きている間にやりたいことをやることはよいことだと思ったからです。(正明さん)
- やっちゃんのように、コロナの影響で「営業は難しい」と悩んでいる人がたくさんいるんじゃないかなあと思いました。(紗也さん)
- 私は、今日の授業を通して、「アンチ」などの紙に人生を変えられるのは絶対にイヤだし、自分の意思を大切にしていきたいと思いました。でも、いつコロナが落ち着くのかかわからないので、「再開してもいいんじゃないかな」と思いました。(友梨菜さん)  
※「アンチ」＝特定の個人や企業、団体や製品をターゲットにして匿名で攻撃すること
- 道德って最初と最後で(ぼくは)意見が変わるからやっていて楽しい！やっちゃんのお店に行きたくなった。(くららさん)
- まぼろし堂は、母と「生きたいね」と話していたので、あんな小物が張った張り紙に負けないでほしい。(莉桜さん)
- どっちにも行けない、難しい、二択ですごくお悩ましい。こういう難しい二択、またやってみたい。(愛実さん)
- やっちゃんみたいに高齢者がお店を開いているところもあるから、その人たちみたいに悩んでいる人たちの力に少しでもなりたかった。(怜汰さん)

保護者の皆さんの意見は「再開するべき」ですか？ それとも「再開するべきではない」ですか？ 私は、子供たちの話し合いを聞いていて、未だに決めかねています。

授業後にお家の人と一緒にいったという子がいましたので、私も見習い、実際に行ってみました。「百聞は一見に如かず！」です。

この問題には、正解がありません。それぞれの立場を決め、理由を伝え合う中で、深い学びができたのではないかと考えています。

